

2021年12月27日
ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

RE100の達成に向け、本社使用電力を100%再生可能エネルギー化

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社(本社:大阪市、社長:小野 有理)は、2020年12月1日に国際イニシアティブ「RE100」に加盟し、2050年までにグローバルの事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーに切り替えるとともに、CO₂排出ゼロのものづくりを目指しております。

此度、大阪本社エリアの自社物件において使用する電力を2021年12月1日より順次、100%再生可能エネルギーに切り替えることと致しました。本社の切り替え電力量は約500MWh/年となり、CO₂排出量を約150t-co₂/年削減できる見込みです。当社では「脱炭素社会」の実現のため、順次使用電力における再生可能エネルギー電力の活用を推進するとともに、持続可能な社会の実現に向けてCO₂排出量削減を含む多様な環境対応策に取り組んで参ります。

今後も当グループは、中長期経営計画“再点火反転攻勢版“で掲げた「車と家をものづくりでつなぐ」に基づき、お客様の発展に寄与し、社会の豊かさに貢献するべく、現業の改善並びに新常態の時代に資するものづくりに邁進して参ります。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社 社長室 広報係

TEL: 06-6302-8211 E-mail: PR1_INFO@dia-zbr.co.jp